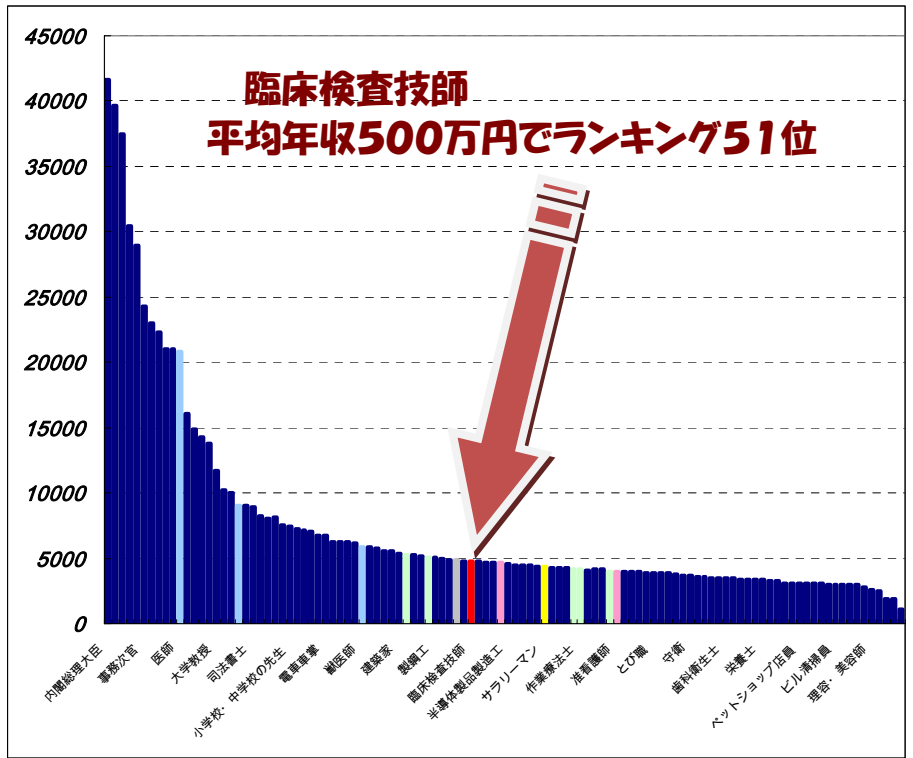


宇宙大診察

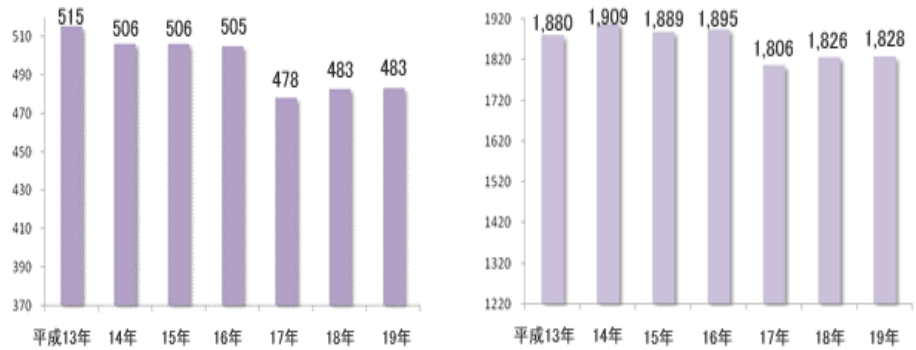


宇宙大診察



平成 19 年度の臨床検査技師平均年収は約 500 万円で、職業別ランキングでは 51 位であることが分かった。

平均給与は、厚生労働省「賃金構造基本統計調査」を基にして算出されたもので、平均年収は 483.3 万円<別集計では 478.0 万円>、平均月収は 32.4 万円、平均時給は 1827.7 円、年間賞与等は 95.1 万円、総労働時間は 177 時間/月となっている。対象となったのは平均勤続年数で 11.9 年、平均年齢 38.2 歳である。



また、上左図は過去 7 年間の平均年収、上右図は同じく過去 7 年間の平均時給の推移である。

ランキングは 110 職種の集計であるが、トップは内閣総理大臣<4165 万円>で、次いで最高裁判所長官<3964 万円>、プロ野球選手<3751 万円>、国務大臣<3041 万円>、検事総長<2896 万円>と続く。行政関係では、事務次官が 6 位<2432 万円>、都道府県知事が 10 位<2097 万円>である。

また、医師が 11 位<2086 万円>、歯科医師は 19 位<904 万円>、獣医師は 36 位<582 万円>となっている。

コメディカル職種では、診療放射線技師 42 位<529 万円>、薬剤師 45 位<501 万円>、次いで臨床検査技師が 51 位<478 万円>となっている。続いて、看護師 55 位<462 万円>、理学療法士、作業療法士<65 位>が 415 万円<同額>、歯科技工士 70 位<399 万円>、准看護師 71 位<399 万円>、歯科衛生士 86 位<348 万円>、介護福祉士 90 位<333 万円>、栄養士が同額の<333 万円>、福祉施設の介護職員が 99 位<305 万円>となっている。尚、一般サラリーマンは、61 位<436 万円>のランキングである。

参考：年収ラボ<Web>、年収ランキング<Web>